

62	病院経営本部	都立病院改革の推進
事業概要	<p>医療を取り巻く環境の変化やこれまで推進してきた都立病院改革の成果を踏まえた事業計画として、平成24年度に「都立病院改革推進プラン」（計画期間：平成25年度から29年度）を策定した。今後も、都立病院改革を着実に推進し、都民に対する医療サービスの充実、向上を不断に図っていく。</p> <p>1 都立病院改革の目的 「開かれた医療」「安心できる医療」「無駄のない医療」を改革方針とし、「365日24時間の安心を目指す医療」と「患者中心の医療」を実現する。</p> <p>2 都立病院の役割 都立病院の基本的役割は、高水準で専門性の高い総合診療基盤に支えられた「行政的医療」を適正に都民に提供し、他の医療機関等との密接な連携を通じて、良質な医療サービスの確保を図ることにある。</p> <p>3 医療サービスの向上 医療の質の向上とネットワークの充実強化により、都民に対する総体としての医療サービスの向上を図る。</p> <p>4 地域医療機関等との協働 重症患者を確実に受け入れていくため、区市町村や地域医療機関等との役割分担を踏まえた上で、連携体制を強化していく。</p>	
これまでの経過	<p>○ 都立病院事業に関する計画・報告書等 平成13年7月 「都立病院改革会議」報告 平成13年12月 「都立病院改革マスタープラン」策定 平成15年1月 「都立病院改革実行プログラム」策定 平成19年11月 「都立病院経営委員会報告 今後の都立病院の経営形態のあり方について」報告 平成20年1月 「第二次都立病院改革実行プログラム」策定 平成24年9月 「都立病院経営委員会報告 ～今後の都立病院のあり方について～」報告 平成25年3月 「都立病院改革推進プラン」策定 平成27年12月 「都立病院改革推進プラン〈実施計画追録版〉」策定</p> <p>○ 主な取組 平成13年7月 「都立病院の患者権利章典」制定 平成13年11月 墨東病院に「東京ER」を初めて開設 (平成14年度までに広尾、府中病院で開設) 平成14年3月 駒込病院が地域がん診療拠点病院に指定 平成15年7月 大塚病院に「女性専用外来」を初めて開設 (平成16年度までに墨東、府中病院で開設) 平成15年7月 府中病院で電子カルテシステム稼働開始 (平成24年度までに全都立病院で稼働) 平成17年5月 豊島病院に診療費等のクレジットカード決済を導入 (平成18年9月までに全都立病院で導入) 平成19年7月 「都立病院の子ども患者権利章典」制定 平成20年2月 駒込病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定 平成20年4月 東京医師アカデミーの開講 平成21年8月 東京都地域救急医療センター運用開始 (平成29年3月現在、広尾病院、大塚病院、多摩総合医療センター) 平成22年4月 東京看護アカデミーの運用開始 平成22年4月 多摩総合医療センター及び小児総合医療センターが一体で総合周産期母子医療センターに指定 (平成29年3月現在、大塚病院、墨東病院、多摩・小児総合医療センター) 平成22年4月 多摩総合医療センターが東京都認定がん診療病院に認定 平成22年9月 こども救命センター運用開始 (平成29年3月現在、小児総合医療センター)</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">これまでの経過</p>	<p>平成23年2月 多摩総合医療センター及び小児総合医療センターが一体で母体救命対応総合周産期母子医療センター(いわゆるスーパー総合周産期センター)に指定</p> <p>平成23年4月 多摩総合医療センターが地域がん診療連携拠点病院に指定</p> <p>平成23年4月 墨東病院が東京都認定がん診療病院に認定</p> <p>平成24年2月 松沢病院が東京都認知症疾患医療センターに指定</p> <p>平成25年2月 小児総合医療センターが小児がん拠点病院に指定</p> <p>平成25年10月 駒込病院が造血幹細胞移植推進拠点病院に選定</p> <p>平成25年10月 多摩総合医療センターが地域医療支援病院に承認</p> <p>平成27年3月 墨東病院が東京都がん診療連携拠点病院に認定</p> <p>平成27年6月 全都立病院に患者支援センターを整備</p> <p>平成28年2月 墨東病院が高度救命救急センターに指定</p> <p>平成28年2月 墨東病院に病児・病後児保育室を開設</p> <p>平成29年3月 墨東病院がスーパー総合周産期センターに指定</p> <p>平成29年4月 墨東病院が地域がん診療連携拠点病院に指定</p> <p>○ 都立病院の再編整備</p> <p>平成14年12月 母子保健院を廃止</p> <p>平成16年4月 大久保病院を(財)東京都保健医療公社へ移管</p> <p>平成17年4月 多摩老人医療センターを(財)東京都保健医療公社へ移管</p> <p>平成18年4月 荏原病院を(財)東京都保健医療公社へ移管</p> <p>平成21年4月 豊島病院を(財)東京都保健医療公社へ移管</p> <p>平成21年10月 大塚病院で児童精神科外来を開設</p> <p>平成22年3月 府中病院を多摩総合医療センターに移転</p> <p>清瀬小児病院、八王子小児病院、梅ヶ丘病院を統合し、小児総合医療センターを開設</p> <p>平成23年9月 駒込病院全面供用開始</p> <p>平成24年5月 松沢病院新病棟運営開始</p> <p>平成25年5月 松沢病院社会復帰病棟運営開始</p> <p>平成26年8月 墨東病院新棟運営開始</p> <p>※ 病院名称は取組当時のものを使用している。</p> <p>※ (財団法人)東京都保健医療公社は、平成24年4月から公益財団法人の認可を受けた。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現在の進行状況</p>	<p>平成25年3月に策定した「都立病院改革推進プラン」に基づき、都立病院改革に取り組んでいる。</p> <p>○ 「都立病院改革推進プラン」の基本的な考え方</p> <p>10年程度先の医療環境(次世代の医療環境)を見据え、4つの「Quality」を充実・強化し、急速に変化する医療環境下においても、都立病院が継続的かつ安定的に行政的医療を提供していく体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強化する4つの「Quality」 <ul style="list-style-type: none"> 医療の質と患者サービス 都立病院を支える人材 迅速で的確な危機管理体制 経営力 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の見通し</p>	<p>○ 「都立病院改革推進プラン」で掲げた事業の推進</p> <p>次の4つの施策に重点を置き、「都立病院改革推進プラン」で掲げた事業を着実に実施していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 次世代の医療環境に対応した「東京ER」の機能強化 2 周産期・小児医療の充実強化 3 災害対応力の強化 4 患者支援体制の充実と在宅医療支援体制の強化 <p>○ 次期計画の策定</p> <p>東京都地域医療構想の策定など地域医療のあり方が変化していく中、都立病院が担うべき医療及び都立病院の役割を果たすためのより効率的・効果的な方法を見定める必要があるため、専門家を含めた検討会で議論を重ね、平成30年度からの次期計画を策定する。</p>	
<p>問い合わせ先</p>	<p>病院経営本部 経営企画部 総務課</p>	<p>電話 03-5320-5806</p>